



謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍で中止や規模縮小となっていた事業の多くを、昨年は感染症対策に万全を期して開催することができました。それに伴い様々な文化活動にもこれまでの活気が徐々に戻ってきているのを感じております。文化団体の皆様からも「3年ぶりの発表会を開催できた」と多くの喜びの声を聞くことができ、大変嬉しく思っております。

文化が持つ力は、計り知ることができません。人と人の心を繋ぎ、元気を希望と与えてくれるだけでなく、人々を笑顔にする力があります。文化は必要不可欠な存在であり、生きていく糧ではないでしょうか。

当財団は芸術文化を通じて、市民一人ひとりの人生を豊かにし、活気あるまちづくりに貢献してまいりたいと考えております。その前提のひとつは、大勢の人々が集い、同じ空間や熱気を分かち合うことかと思っております。今年は、穂の国とよはし芸術劇場「PLAT」が開館10周年を迎えます。これまでの10年、PLATに親しんでくださったことに感謝申し上げますとともに、より多くの方にご利用いただけますよう、また、皆様にとってより身近な存在となれますよう、努めてまいります。引き続き感染症対策を行いながら、昨年以上に人々が芸術文化に触れ合い、ともに分かち合う機会を創っていきたくと存じます。

本年も皆様方がご健勝で益々活躍される事をお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

春の市民大茶会(前期・後期)を開催します。

今年の春の市民茶会は従来どおり茶券制で開催いたします。前期は桜を、後期はつつじの花を楽しみながらご参加ください。

- ▶日時 / 【前期】4月9日(日)10時～15時
【後期】4月23日(日)10時～15時
- ▶場所 / 豊橋市民文化会館
- ▶参加流派 / 【前期】表千家清和会、裏千家今和会、茶道宗偏吉田流青年部、宗偏流豊橋支部、表千家不白流(順不同)
【後期】茶道宗偏吉田流、松尾流、煎茶売茶流、南坊流(順不同)
- ▶茶券 / 前売1,200円(2席綴り)、当日700円(1席)
- ▶茶券販売 / 豊橋市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場、豊橋三の丸会館、各参加流派にて取り扱い
- ▶問合せ / 豊橋文化振興財団 ☎0532-39-5211



豊橋総合いけばな展を開催します。

豊橋華道連盟に所属する9流派の合同いけばな展です。各流派出色の作品で、見ごたえのある花展となります。ぜひご覧ください。

- ▶日時 / 令和5年4月22日(土)～23日(日)10時～16時
- ▶場所 / 豊橋市民文化会館2階展示室
- ▶出展団体(予定) / 嵯峨御流、華道家元池坊豊橋、小原流、南宗流、真生流、日本生花司松月堂古流、花芸安達流、日本華道松月、天生流(順不同)
- ▶問合せ / 豊橋文化振興財団 ☎0532-39-5211



初釜茶会を開催しました。

令和5年1月8日、三の丸会館「千切庵」において、豊橋茶道クラブ主催で南坊流による初釜茶会が開催されました。未だ終息をみないコロナ禍のため、予約制による人数制限や換気等十分な対策を講じての実施となりました。

待合床には「大黒」の軸、本席には大亀による「福寿」の書がかかり、正月らしい雰囲気を出していただきました。ニラ山ノ竹の花入は南坊流十世・了閑の手造り、茶杓・銘「面影」は南坊流十六世・昇鶴、そして色絵茶碗・銘「幸」の筆書きは南坊流十七世・昇陽の手によるものでした。

赤い目の付いた上用徳頭・銘「円兎」(若松園)が供されたときには、そのかわいらしさに一同から笑みがこぼれ、一気に会場が和やかな雰囲気になりました。

浅井由崇市長や堀田市議会議員はじめ豊橋市幹部の皆様にも極上の伝統文化を堪能して頂くことができました。

昭和61年には三の丸会館が誕生し、茶道クラブの月例茶会を開催してまいりました。今後も引き続きご愛顧のほどよろしくお祈りいたします。



幻の能・復曲「鳳来寺」

- ▶日時 / 令和5年5月13日(土)13時開演
- ▶場所 / 穂の国とよはし芸術劇場 主ホール
- ▶入場料 / S席10,000円、A席8,000円、B席6,000円、2階席3,000円
- ▶チケット取扱 / プラットチケットセンター TEL.0532-39-3090
- ▶問合せ / 0532-73-3432(三河三座)、090-7438-9779(伊藤)

豊橋を拠点に活動しているNPO法人三河三座さんが今年5月に披露する「鳳来寺」を題材とした能の復曲に取り組んでいます。今回、その取り組みを取材させていただきました。

—今回のこの能「鳳来寺」復曲の経緯を教えてください。

これまで三河三座として吉田城新能などを開催してきましたが、心のどこかで「自分たちの地元の能と言えるものがあり、それができたらいいな」と思っていました。鳳来寺1300年祭の時に、謡曲「鳳来寺」が今回出演いただく先生方により奉納されたというニュースを聞き、三河三座でこの謡を能として公演して地域の皆さんに観ていただきたいと思ったのがきっかけです。

能で現在残っている曲は250～270くらいですが、本当はもっと多くの能があって時の政治社会状況で廃曲になったり、自然消滅してしまったんだろうと思います。昔は能を舞える人は限られていましたが、結婚式で謡われる「高砂」など、民衆が謡を楽しむ文化があって、謡曲教室も各地にありました。この「鳳来寺」もそんな謡の一つで、今はおそらく一部のみにしか知られていない謡ですが、今回、様々な方のご協力をいただき、能として公演できる運びになりました。

—どんな内容の話になりますか？

昔から鳳来寺山はどうして「鳳来」なんていう立派な名前がついているんだろうって思っていたんです。石巻山と比べると名前が随分立派ですね(笑)。もちろん由来があって、その昔、鳳来寺山は桐生山(きりゆうざん)、鳳来寺は煙塵寺(えんじんじ)という名前だったそうです。そこに都でも有名だった利修仙人という



仙人が住んでいて、天皇の勅使が訪ねてきて病を治すよう頼まれるのですが、さんざん断った後、説得されて鳳凰に乗って都に上り天皇の病気を治し、これによって天皇より「鳳来寺」の寺号を賜り、桐生山も鳳来寺山になったそうです。この利修仙人が治しに行く行かないといったそのあたりのやり取りの物語となります。

この伝説が謡となったのが、三代将軍徳川家光の時代です。家康の父母が鳳来寺で子を授かるように祈願したこともあり、家康の出生にまつわる場所として家光が東照宮を建てたのですが、その時に今回の能にする謡「鳳来寺」ができたと言われてます。謡本もきちんと残っています。

—最後にメッセージをどうぞ。

大きな挑戦ですが、こちらも本当に楽しみにしています。地元の能としてこれからも繋いでいけるような作品にしたいと思っていますので、多くの方のご来場をお待ちしています。

令和5年度 維持会員会費納入のお願い。

豊橋文化振興財団では、財団の目的及び事業に賛同する維持会員の皆様の財政的支援および文化事業への参加を通じて、今年度も充実した事業運営ができております。心よりお礼申し上げます。

新年度も引き続き、ご支援・ご協力賜りたく、令和4年度の維持会員の皆様には、**3月上旬に更新のご案内を送付させていただきます。**指定の方法にてお支払いください。よろしくお願いいたします。

- ▶会員期間 / 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- ▶会費 / 普通個人会員：1口 3,000円、特別個人会員：1口 10,000円
特別団体会員：1口 10,000円、特別法人会員：1口 20,000円
特別賛助会員：1口 50,000円

●特定公益増進法人に対する寄附金について

当財団の維持会員としての会費は、所得税法施行令第217条第1項第3号及び法人税法施行令第77条第1項第3号に該当する特定公益増進法人として、寄付金控除の対象となります。詳細につきましては、お送りするご案内をご覧ください。豊橋文化振興財団事務局までお問い合わせください。

文化団体
紹介 Vol.37

ハッピースマイル

気負わず元気に楽しむ

今回は、コーラス団体のハッピースマイルさんの練習へお邪魔しお話を伺いました。

—ハッピースマイルさんの活動を教えてください。

もともとは20年くらい前に豊橋の南部地区の方で始まったコーラス団体がきっかけだったのですが、その後活動の場を南桜地区の方へ移し、現在、豊橋市大清水まなび交流館「ミナクル」を練習場所として、月2回練習に励んでいます。日々の練習でコーラスを楽しむほか、11月にある「コーラスのつどい」への参加を一つの目標に活動しています。

は難しいですが、それでも4月になれば11月の「コーラスのつどい」に向けて、演奏曲を決めて取り組みます。手を出して届くくらいの目標の曲がちょうどいいですね。いつも先生がとても明るく楽しく指導してくれるので、私たちも楽しみながら練習しています。

—ハッピースマイルとしての夢や目標はありますか？

そんな大それた目標はないですけど、みんなが気負わずに楽しんで元気に毎年「コーラスのつどい」に参加できることですね。やはり、目標があるのは励みになりますし、練習にも緊張感が出ます。それに、我々の年齢くらいになると声がいきなりは出ませんから(笑)、日々の練習を楽しく元気にやっていきたいですね。それから、コロナ前は福祉施設への慰問活動も行っていたのですが、その活動も楽しかったのがいつか復活できるといいなと思っています。

—「コーラスのつどい」出演団体としては唯一男性メンバーがいる団体ですね。

そうですね。現在4名の男性団員がいます。混声4部合唱は人数的に難しいですが、混声曲をみんなで楽しんでいます。特に女性だけということをやっていたので、入りたいたいという男性の方がいたり、「男性が少ないから入って」と紹介されて入る方、ご主人を連れて来られたメンバーの方もいて今に至っています。メンバーみんな仲がよく、目標に向かって一致団結してコーラスを楽しんでいます。

—どんな曲を中心にして活動されていますか？

今は日本歌曲を中心にしていろんな曲を楽しんでいます。月2回の練習なので、大曲

**ただいま男女とも
メンバー募集中**
関心ある方は財団事務局まで
0532-39-5211



催し物スケジュール 3月～4月

※この予定表は予告なく変更する場合がありますので、事前にお確かめください。入場料は前売料金。



豊橋文化 2023年2月発行

市内文化団体主催および豊橋文化振興財団が後援する催し物を中心に掲載しています。掲載のご希望は、問合せ先までご連絡ください。

3月	はじめてのお能体験【参加無料】	時間●14時～ 場所●西村能舞台(豊橋市上伝馬町) 参加料●無料 お問合せ●090-7048-3531(内藤)hoshoryu.hiunkai@gmail.com
4日(土)	茶道クラブ月例会 ※事前予約制	時間●9時30分～ 場所●三の丸会館 会費●会員500円/一般600円 担当●煎茶売茶流
5日(日)	裏千家六日会月釜	時間●10時～ 場所●三の丸会館 会費●900円(一般参加可) 担当●寺部宗業
6日(月)	音楽の父と母	時間●13時30分～ 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT 創造活動室A 入場料●2,500円 内容●バロック時代の作品を古楽器を使用して演奏し、その作品についてわかりやすい解説を付けお届けするコンサート。
7日(火)	第55回三河書芸展	時間●9時～16時 場所●桜ヶ丘ミュージアム 入場料●無料 内容●書道愛好者約80名による書の作品展覧
12日(日)	野畑さおりアレンジの世界	時間●14時～ 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLATアートスペース 入場料●一般2,000円/学生1,000円 内容●クラシック音楽と映画音楽の名曲をアレンジし、演奏します。
15日(水)	水曜短歌会	時間●13時30分～ 場所●豊橋市民文化会館第7会議室
18日(土)	桜丘学園吹奏楽部 第36回定期演奏会	時間●18日18時30分開演(18時開場) 19日14時開演(13時30分開場) 場所●アイプラザ豊橋 入場料●指定席1,000円/自由席一般800円/自由席学生500円/当日1,000円 内容●高校生、中学生、OBが集まり部訓である「Happy sound」を皆様にお届けします。
19日(日)	日曜短歌会	時間●13時30分～ 場所●豊橋市民文化会館第7会議室
26日(日)	豊橋素人歌舞伎保存会第35回定期公演	時間●11時～ 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLAT 主ホール 入場料●無料 内容●「寿式三番叟」「与話情浮名横櫛 源氏店の場」「絵本太功記十段目 ニヶ崎の場」
28日(火)	第40回日本水彩画会豊橋支部展	時間●9時～17時 場所●豊橋市民文化会館 入場料●無料 内容●日本水彩画会豊橋支部による水彩画の展示
31日(金)	日本生花司松月堂古流東三支部 春のいけばな展	時間●10時～14時30分 場所●穂の国とよはし芸術劇場PLATアートスペース 入場料●無料

4月	琵琶演奏会	時間●13時開演(12時開場) 場所●豊橋市民文化会館リハーサル室 入場料●無料 内容●大河ドラマに合わせ、徳川家康にちなんだ演目を中心に琵琶演奏をします。
2日(日)	はじめてのお能体験【参加無料】	時間●14時～ 場所●西村能舞台(豊橋市上伝馬町) 参加料●無料 お問合せ●3/4欄と同じ
7日(金)	第791回邦楽鑑賞会	時間●18時～ 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●無料 内容●市内邦楽団体による披露
9日(日)	春の市民大茶会【前期】	時間●10時～15時 場所●豊橋市民文化会館 茶券●前売券1,200円(2席)
15日(土)	えびね展	時間●9時～17時 場所●豊橋市民文化会館2階展示室 入場料●無料 内容●東三河えびね愛好家による多種にわたる「えびね(ユリ科)」の展示
16日(日)	日曜短歌会	時間●13時30分～ 場所●豊橋市民文化会館第7会議室
19日(水)	水曜短歌会	時間●13時30分～ 場所●豊橋市民文化会館第7会議室
22日(土)	豊橋総会いけばな展【春】	時間●10時～16時 場所●豊橋市民文化会館2階展示室 入場料●無料 内容●市内華道9流派による東三河最大級の華展
23日(日)	春の市民大茶会【後期】	時間●10時～15時 場所●豊橋市民文化会館 茶券●前売券1,200円(2席)
29日(土)	豊橋少年少女合唱団第43回定期演奏会	時間●14時開演(13時30分開場) 場所●豊橋市民文化会館ホール 入場料●1,000円(自由席/3歳以下無料) 内容●少年少女のための合唱ミュージカル プレーメンの音楽隊ほか

今号の一枚



富田雅臣

「僕らの住むこの世界では旅に出る理由がある」

サイズ60×30cm アクリル絵の具

ふわふわした気持ちの僕が旅に出る理由
富田雅臣展

- 日時
2023.2.23(木)～3.19(日)
3.8(水)は臨時休業
10:00～18:00
- 場所
art・age Gallery
アートエイジギャラリー
- Instagram
@chiyokomorinaga103



CHIYOKOMORINAGA103

VOL.7 気まぐれプチ旅 古建築の活用法 斧路朱音

古くは黒澤明監督の映画《姿三四郎》のロケ地にして、童話《ごんぎつね》で知られる新見南吉の古里、酢や酒の醸造業が盛んで、近代化産業遺産の認定を受けた『旧カブビール工場』を修復・復活させた『赤レンガ建物』が町のシンボル…愛知県半田市には、古建築を再利用した素敵な飲食店があるという噂を耳にしたので、興味をもって訪れた。

知多半田駅近くのビジネスホテルに宿を取り、愛車を駐車場に止めてフロントでチェックイン。荷物を部屋に置き、早々に外へ繰り出した。

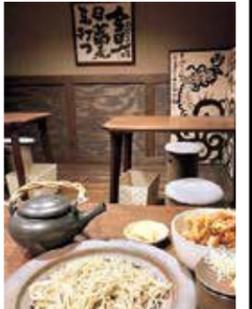
目的の1件目は、古民家をそのまま活用した手打ち蕎麦『古窯庵』…ブルーモーメントの空に歴史を刻んだ建物が、なんとも形容しがたい風情のある佇まいをみせている。格子戸をくぐり、ジャズの流れる店内へ。のちにわかったことだが常滑にも店舗があり、そこが日本六古窯の地であることから店名を決めたという。



「古窯庵」外観

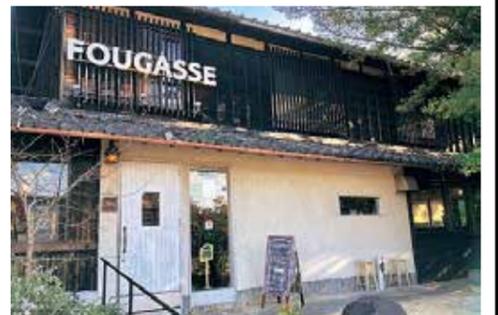
この日は、石臼挽き自家製粉で、蕎麦粉は主に福井丸岡産を軸に長野や北海道などその年の出来の良いものを厳選しているらしい。そして、つゆはヒゲタ醤油を使った江戸前仕立てで、エッジの効いた辛い旨味がウリ。店主は蕎麦好きが昂じて、縁のあった兵庫県の『土山人茸屋』で修業後、古里知多半島で2001年に開業した。

能書きはこのぐらいいして、お品書きを吟味…《粗挽き田舎》も気になるが、ここはオーソドックスに《細打ちせいろ》に決めて《かき揚げ天井(小)》を追加注文。想像通りの味と香りの蕎麦と素朴な雰囲気で大満足。もちろん、かき揚げも旨い!



「古窯庵」店内

翌朝は、身支度を整えて、ホテルを8時にチェックアウト。2件目にめざすのは、とある喫茶店。半田は豊橋や尾張一宮に負けず劣らず喫茶店の数も多く、モーニングのクオリティも高い。訪れたのは、カフェ&ベーカリー『フーガス』…名称のとおり、パン工房の『グランピアン』を併設した喫茶店だ。店主に話を聴くと、ここはかつて村一番の米問屋の事務所で、大きな石燈籠や柱、文化財級の巨大な金庫などはそのまま遺し、必要な箇所だけリノベーションして開業したという。ガラス棚に収納された歴史を刻んだ秤や古時計が往時を忍ばせている。



「フーガス」外観

キメの細かなしっとり系高級食パンの〈バターtoast〉に〈ミニサラダ〉と〈ミニヨーグルト〉が付く《日替わりモーニング》を〈ブレンドコーヒー〉とともにオーダー…帰り際にレジ横のベーカリーを覗いて〈低糖質あんぱん〉と〈シナモンロール〉を土産に購入した。

今回訪れた半田市内にある古建築をリノベーションした2件の飲食店は、懐かしさを遺しながらもオシャレでゆったりと寛げる空間を見事に演出していた。

文化短信

▼豊橋市民俳句会 第656回句会

愚痴話聞いてあるふり 蜜柑むく 佐藤英子

縮虫や転がしてゆく ガスボンベ 大河美智子

冬籠未読の本と推敲句 後藤青海人

日の匂ふ陳皮煎じて冬籠 彦坂艶子

編棒の五指しなやかに冬籠 加藤美津子

入念に生活の蜜柑研ぐ 篠田和代

干し柿は二階へ吊す一部落 富田灯出子

南天と千両日々赤鏡ふ 林香美

ただ一輪垣根にすがる 帰りに花 鳥居節子

説法の長びく堂や隙間風 河合澄子

兜太逆さ秩父の山に鮫眠る 富田灯出子

冬萌やとろりととろりと天浜線 大河美智子

全旨の子の瞳のどらふ初明り 佐藤英子

大漁旗靡く港の初景色 林香美

縫初糸をからかふ針の穴 鳥居節子

漆黒の梁に餅花枝垂れけり 篠田和代

冬萌や先のつづれし老いの枝 高橋良子

目のあひし水族館の鯨を追ふ 坂部靖子

冬萌や鶏の啄む嘴の先 後藤青海人

新調の眼鏡眩しき初句会 加藤美津子

淑気満つ彩雲映ゆる地蔵川 彦坂艶子

磨り潰し鮫は竹輪の身となり 河合澄子

▼豊橋文化短歌会 十二月日曜歌会

今しばし冥途の旅をスルーし 岡田宏子

て独人茶房に夕日とあそぶ 岡田宏子

野良猫の小屋に餌箱おかれぬ 岡田宏子

る池のほとりを誰も知らない 真造富久代

土匂ふ里芋むけばぬめりつつ 丹羽智子

素手に広がる秋の手触り 丹羽智子

蟻が平家源氏は雀蜂無駄な 丹羽智子

戦と蝶が飛び交う 西郷賢谷

コントラストがとつてもいいね 西郷賢谷

空の青熟れ柿たわわ秋を奏でる 岡田米子

骨折も脳梗塞も乳がんも乗り 岡田米子

越え後期高齢者になる 河合美智子

ブラボーと雄叫び聞けば私も 河合美智子

また歓喜の渦の一滴となる 小池保利

風呂上がりのオレンジジュースは 小池保利

全身の細胞へビタミンCを走らす 岩瀬美子

十二月水曜歌会

元彼と縫りの戻りしと年上の 貴女は言いつたり駅前喫茶 西郷賢谷

くうくう五匹の犬が軒かく 居間を包める平和の空気 室澄子

葉を落とすモノクロームの並木 路「第三の男」のラスト浮かびぬ 原田敬子

窓際の時計止まれよと診察の 順番を待つ暮れの待合室 夏目伊代子

年寄りにいつのまにやらなつて いた年寄りの味短歌に留めん 成瀬眞智子

ねこじやらしの長き三本指を 夕焼けこやけの空をバックに 岩瀬美子

言葉にはひとつひとつに色がある たとは君はバスターカララ 洲淵智子

菊花展の大賞の菊のうつつり 菊を枕にし邪気払いとき 篠田和代

細き路地のはまぐりコース三千 円桑名の街のランチは決まる 伊藤はつあ

リルケの詩一休禅師の句に思ふ わたしもいづれ散りゆく一葉 河合美智子

陽のあたる野良猫になった気がし てるピアノの和音が遠く聞こえて 長谷川公代

モーニング友と語りながらヒー ーに会話は弾みヌーンとろりぬ 竹中寿美恵

紙面よみ批評しあひし二人に て夫亡き今の手持ち無沙汰よ 藤井正子

雪の夜のレールの先に浮かびゆく 夢あらばなほ行きてもみたく 真造富久代

鶏の最後に生みたるひとつかも 割ればたまゆら日輪のいろ 丹羽智子

蟻は鎌を取られてキリギリ かわれの刀も錆びております 西郷賢谷

踊りつつ英語と日本語混じる詞 を早口でうたふPOP歌手 小池保利

昨夜の夢蝶には在らずもかげろ ふとなりて目覚めり 元朝迎ふ 岡田宏子

有り難し びんびんころり望 むのみ命ある間に人に尽そう 成瀬眞智子

朝八時洗濯物を干す庭に八手 のま白き花の清しし 河内美智子

二日目の休みはゆつたり時間流 れテーブルの染みに心騒めく 伊藤はつあ

P・Cの立ち上がり待つひととき をヨガマットの上猫のポーズで 岩瀬美子

今年かぎりとなる年賀状同年 の友の心境はかりつつ読む 池田あつ子

ついたちのくきゆるゆるゆる みをり何もせぬ日の何もなき幸 宇佐美幸枝

令和五年一月水曜歌会

古い女に葉の世話焼く初老の 男 回春司のカウンター奥 室澄子

溜池の改修工事に水抜かれ何 処ともなく留鳥発ちぬ 篠田和代

その伏し目怒っているの泣いて るの笑っているの今朝のその顔 西郷賢谷

しるじろとピルの間を抜けて くる光の帯に目を落としたり 内藤よし子

鈍色に曇るころをなぞらめつつ 紅茶に想ふ今日はカモミール 原田敬子

和紙御用掛に永田氏採用の六 行の記事 暮れの二十日に 伊藤はつあ

老松は瀕死の体を曝しつつ地 元の歴史見届けており 竹中寿美恵

久々に逢いしその人話し中傘 寿になりしと幾度もうたう 岩瀬美子

白蓮の未だに固きつぼみたち 寒夜に銀の光うかべい 夏目伊代子

公園に大樹をそと抱きよけ 久々に昔録りたるわが返るの イントロ聞けば十歳若返る 長谷川公代

買出しの帰りの君と行く吾 と久方ぶりの会話たしむ 河合美智子

▼豊橋番傘川柳会1月句会

長い耳兎もきつと噂好き 小松くみ子

ハードルをびよんと跳びつゝ兎年 無防備な兎は兎を見破れず 渋谷さくら

泣かされる年か兎の目が赤い 須崎東山

優しい目兎はびよんと跳ぶ構え 竹内そのみ

兎年ドラゴンズにはソクがある 佐藤恭子

疎開先兎と同居してました 佐藤文児

戦争はベットの兎まで食べた 寺部水川

兎より兎より遅い物覚え 池谷英子

兎の餌探し求めて波多野律子

慢心になつちや駄目だとうきから 青嶋由紀美

好きなのに月の兎と諦める 山口タカシ

聞き耳を立てて兎はマイペース 戸沢はる

イソップの兎にならぬゴール見る 来本芳子

せがまれて兎を飼つた育児録 鈴木順子